

令和6年度

国臨協関信支部
神奈川地区会
会報誌
第76号



令和7年6月発行

会長挨拶

～ 会報誌第 76 号発行に寄せて ～

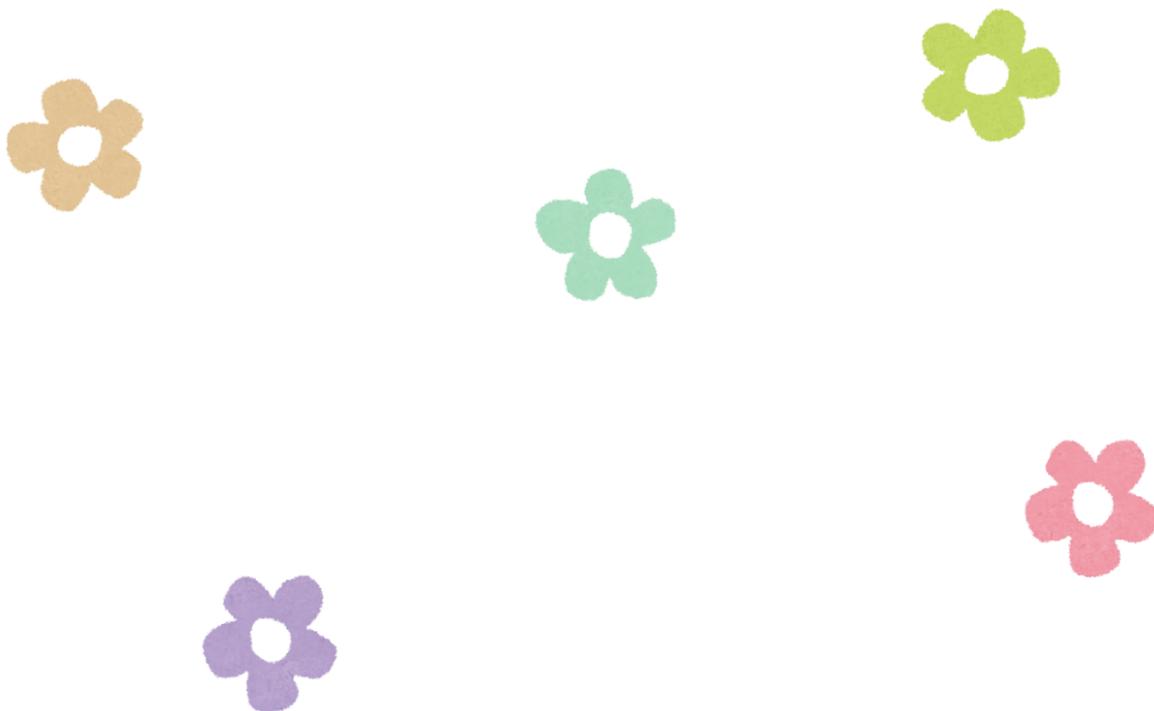
関信支部神奈川地区会長
NHO 神奈川病院 瀬戸 茂誉

今年度神奈川地区会の会長を務めさせていただきます神奈川病院の瀬戸と申します。神奈川地区会は 18 年前に当院に在籍していましたので、今回で 2 度目の神奈川地区会入会となりました。当時の神奈川病院は病棟老朽化が激しく雨漏りなどありましたが、現在は新棟が立て替えられ新棟で働くスタッフのモチベーションにも繋がっております（その他は全く変わりなく、検査科もほとんど変わりません・・・）。

4 月の人事異動で神奈川地区会も多くの会員が入れ替わり、新たな気持ちでのスタートと考えている方も多いと思います。これから少しでも会員相互の親睦が深まるように精一杯務めさせていただきますので、ご協力よろしくお願い致します。

さて、今年度の第 1 回の理事会を 1 月 23 日（水）に Web 会議にて開催し、今年度の活動方針、役割分担を決定いたしました。親睦会は 6 月に会員皆様が喜んで頂ける企画を準備しております。9 月には国臨協関信支部学会で「地区会コーナー」の参加、10 月には横浜医療センターで学術講演、総会、懇親会を企画しております。

会員相互の親睦を深め、各施設間での情報共有やコミュニケーションを取るための地区会活動であります。役員一同力と知恵を持ち合わせて楽しめるような会にしたいので、会員皆様の積極的に参加いただけますようお願い申し上げます。



新会員の挨拶

NHO 相模原病院

「自己紹介」

NHO 相模原病院 稲垣 慧美



令和7年4月1日より、新卒で相模原病院に採用となりました稲垣慧美（さとみ）と申します。念願の医療職に就きたいという望みが叶い新社会人として相模原病院で働けること、また優しく丁寧な説明を頂ける先輩方々とのご縁ができたことにとっても感謝しております。まだまだ分からないことだらけですが、職場で意欲的に取り組みながらご指導頂くことで研鑽を積んでいきたいと考えています。出身は自然豊かな伊勢原市で、幼いころは近くの味覚狩りや釣り、ハイキングなどのアウトドアに家族でよく出かけておりましたが、今は自宅で映画やドラマ、動画・音楽鑑賞などのインドアの頻度が多くなってきています。たまに友人と旅行に行くこともありますが、食べるのが好き

なメンバーなのでグルメ旅になることが多いです。また、中学・高校・大学では、それぞれ、コーラス部・弦楽部・ジャズ研究サークルに所属し音楽活動を続けてきましたが、どちらかと言うと演奏するよりは聴くのが好きな方です。このようにプライベートではインプットがメインとなっていますが、職場では各種業務に係るインプットを正確に着実に習得していくことでアウトプットに繋げていきたいと考えています。職場を通じ、臨床検査技師としてだけでなく社会人としても成長出来ればと思っております。

神奈川県地区会の皆様どうぞよろしくお願いたします。



NHO 横浜医療センター

「自己紹介」

NHO 横浜医療センター 片桐 理絵



令和7年4月1日付で東京医療センターより昇任で参りました片桐理絵（かたぎりみちえ）と申します。

初めての就職先として賃金職員時代の4年余りを過ごした横浜医療センターに20数年ぶりに戻ってきました。ここ10年は東京の病院（災害医療センター・東京医療センター）まで、長距離車通勤でしたが、久しぶりの地元神奈川です。通勤は車で30分と本当に楽になりました！！まだ赴任して数週間…慣れない副技師長業務（勤怠管理・業務統計・会議など）に加え、採血や生理検査業務、休日日勤のためのトレーニングと盛りだくさんで右往左往する日々ですが、一日も早く業務に慣れ、技師長をはじめスタッフの方々にご指導いただきながら楽しく働きやすい職場環境になるよう貢献できればと思っています。

そして、趣味として10年以上続けているのはボルダリング。マニアックなスポーツ過ぎるようで、同じ趣味の方に巡り合うことはほぼありませんが・・・頭と身体を使う楽しいスポーツです。バランスを取りながら登るので、イメージと違い筋力のない女性でも楽しめます。一緒に楽しんでくれる人が増えると嬉しいです。いまは平日の仕事疲れで週末ぐったりですが、ストレス発散も兼ねながら体力維持のため、これからも怪我なく楽しみたいと思います。

横浜医療センター・相模原病院と神奈川地区の病院に長く勤めていたこともあり、顔見知りもちらほら。研修会やレクリエーション等で神奈川地区会の皆さまとお会いできることを楽しみにしております。どうぞよろしくお願いいたします。



「自己紹介」

NHO 横浜医療センター 春原 悟



4月1日付で横浜医療センターに配属となりました春原悟（すのはらさとる）です。神奈川地区会は、相模原病院に勤務していた2022年以來となります。生まれは千葉県の木更津で、幼少期から大人まで過ごしたのは埼玉県の坂戸というところで、働いてからほとんど病理検査を担当しています。

私は、自分のためにある言葉かと思うくらい超ポジティブです。また、常に物事の目的を把握し、出来事に対して点で考えるのではなく、始まりと終わりをなるべく幅広い曲線で結んだ円状の範囲すべてを考えるようにしています。そのためにはたくさんを知ることから始めなければならず、元々はなまけものの性格なので、

自分自身で強制的に頭を働かせる術を身に付け、今に至るという感じです。伝わらないかもしれませんが、そんな感じです。

趣味は野球観戦、YouTubeを観ること、ベースを弾くこと、ゲーム、漫画とかでしょうか。生活の中で趣味に没頭する時間も減りましたが、今年は好きな野球チームのファンクラブにも入ったため、月1回以上は試合を見に行こうと思っています。まだまだ新天地でばたばたしておりますが、「推し」がレギュラーを獲得してくれることを期待しつつ、落ち着いたら応援しに行ってくださいと思います。

神奈川地区会の皆様には直接お会いできることを楽しみにし、それまでには新天地での自分の役割とその取り組みを確立し、進捗、趣味のことなどたくさんの情報交換ができればと思っています。改めまして、どうぞよろしくお願ひいたします。



「自己紹介」

NHO 横浜医療センター 東 作弥



令和6年6月1日より、NHO 横浜医療センターに新卒で採用となりました東作弥と申します。専門学校を卒業し、初めて病院で就職となります。入職から1年ほどたった今、日々業務に励む中で出来ることも少しずつ増え、自分の成長を感じております。たとえば、患者様とのコミュニケーションの取り方や、業務の優先順位の付け方、チーム内での連携の大切さなど、現場での経験を通して多くのことを学んでいます。それでもまだまだわからないことについて悩むことも多く、日々職場の先輩方に教えていただきながら、一つ一つ学びを重ね、さらにレベルアップできるように日々精進しております。今後も知識や技術を高め、努力していきたいと考えております。

趣味は服、音楽、そして料理です。服は休みの日に友人と洋服を見に行ったりして楽しんでます。音楽はジャンルを問わず幅広く聴いています。通勤時間やちょっとした休憩時間に気分転換として聴いており、気分をリセットしています。特に音楽ライブへ行くのがすごく好きで、好きなアーティストのライブによく足を運んでいます。料理は、自炊をする中でレパートリーを増やすのが楽しみのひとつです。時間がある週末には少し凝った料理に挑戦したり、友人に料理を作ったりするのが、日々のちょっとした楽しみになっています。

まだまだ学ぶことばかりで、ご迷惑をおかけする場面もあるかと思いますが、自分なりに努力を積み重ねていきたいと考えております。一生懸命頑張りますので、神奈川県会の皆様には、今後とも温かくご指導・ご鞭撻を賜りますよう、どうぞよろしく願いいたします。

「自己紹介」

NHO 横浜医療センター 金野 遥



令和7年4月1日より横浜医療センターに新卒で採用となりました、金野遥(このはるか)と申します。苗字は今野と書かれたり、かねのと読まれたり。書くにも読むにも間違われやすいですが、印象には残りやすいでしょうか。出身は神奈川県厚木市で、実家から通うには少し遠いので横浜医療センターの近くで一人暮らしを始めました。引っ越していちばん驚いたのは急坂が多いことです。どこに行くにも一つは坂を挟むので自転車も使えず、自分の足だけでなんとか生活しています。初めての就職、新生活で慣れないことも多く最初は戸惑いましたが、仕事にも坂登りにも少しずつ慣れてきたところです。

インドアなので休みの日は出かけるより家でゆっくり過ごす方が好きなのですが、せっかく横浜に引っ越してきたのでたくさん出かけたと思っています。食べるのが大好きで、横浜医療センターの最寄り駅である戸塚駅の近くにはおいしいごはん屋さんがたくさんあるそうなので、いろいろなお店に行ってみたいです。またお酒はあまり得意ではありませんが居酒屋のごはんやおつまみ(特にからあげ)が好きなので、居酒屋も少しずつ開拓していきたいと思っています。

まだまだ覚えることばかりで大変ですが、臨床検査技師としてこれから知識や技術を身につけていけたらと思います。ご迷惑をおかけすることもあるかと思いますが一生懸命頑張りますので、ご指導ご鞭撻のほどよろしく願いいたします。

NHO 久里浜医療センター

「自己紹介」

NHO 久里浜医療センター 平本 研二



4月1日付で多磨全生園から久里浜医療センターに配置換えで参りました平本研二と申します。出身は埼玉県の狭山市です。狭山茶で有名ですが、周りは田んぼと畑だらけの田舎です。職歴は、国立小児病院、国立水戸病院（現：水戸医療センター）、東京病院、災害医療センター、多磨全生園を経て久里浜医療センターにて6施設目になります。

趣味はハイキングで、水戸医療センターの時には筑波山や各溪谷、東京病院、災害医療センター、多磨全生園の時は高尾山などへよく行きました。登り始めは非常に辛いのですが、頂上に着いた時には、何とも言えない達成感があります。こちらでは、まず海沿いの道を散歩してみようと思っています。久里浜港から千葉県富津市へのフェリーも出ているのでこちらも楽しみたいです。

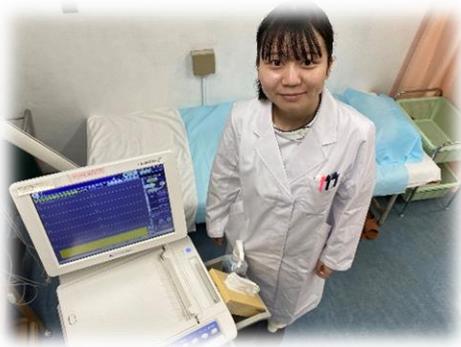
久里浜医療センターでは、単身赴任になりますが、水戸医療センター以来約30年ぶりになります。久しぶりの一人暮らし、不安ですが久里浜医療センターから眺める海の絶景に心が和みます。

色々な会議や研修会が集合型で行われるようになり、神奈川地区会の皆様にお会いできることを楽しみにしております。どうぞ宜しくお願い致します。



「自己紹介」

NHO 久里浜医療センター 永沢 美樹



令和7年4月1日付で、久里浜医療センターへ採用となりました。永沢 美樹（ながさわ みき）と申します。昨年度まで国立がん研究センター中央病院の非常勤職員として2年間、治験業務や検体検査業務に携わっていました出身は栃木県で大学進学タイミングから今まで神奈川県に住んでいます。実家では猫を3匹飼っています。私が大学1年の冬あたりから姉妹の猫2匹を飼い始め、大学2年の夏あたりに弟が捨て猫を拾ってきたことにより1匹増えて3匹になりました。私が実家を離れてから猫を飼い始め

た為、猫を飼っている状況に私自身が慣れておらず、今でも実家に帰るたびに家に猫がたくさんいるな、猫カフェみたいだな、と感じています。

久里浜医療センターは海の近くにあるため、病院から海が見えます。お昼休憩のタイミングで海を見ながら深呼吸をすると、心が浄化されたようで気分転換になります。春はスイセンがたくさん咲いてとても綺麗でした。業務は主に生理検査を担当することとなりました。当院は精神疾患の患者様が多いため、患者様と多く接する生理検査でどのようにコミュニケーションをとるべきか先輩方から学んでおります。以前の病院では主に検体検査に携わっていたため、慣れない業務でわからないことだらけですが、たくさん吸収して患者様により良い検査を提供できるように精進してまいります。ご迷惑をおかけすることも多いかと思いますが、早く新しい環境に慣れ仕事ができるよう頑張りますので、どうぞよろしくお願いいたします。



NHO箱根病院

「自己紹介」

NHO 箱根病院 河合 真由子



令和7年4月1日付で千葉医療センター千葉東病院(旧病院名:千葉東病院)から箱根病院へ配置換えとなりました河合真由子と申します。

生まれは神奈川県藤沢市で育ちは神奈川県茅ヶ崎市の湘南生まれ湘南育ちです。この度約9年続いた千葉での1人暮らしを解消し茅ヶ崎で実家暮らしとなりました。家族との生活スタイルの違いに若干のストレスを抱えつつも実家から職場へは毎日、海を眺めながら電車で通っています。たまに晴れた日に富士山が見えたときは少し嬉しい気持ちになります。

「海を眺めながら」とあるように幼少期から海を間近に育ってきたため海を見ると波の高さや魚のはね具合など意識してしまいます。そのせいか私の趣味は釣りです。小学生の頃に父から教わった釣りを大人になり昨年から久しぶりに始めてみました。最初は勘を取り戻すためにサビキから始め最近は様々な仕掛けで釣りに挑戦しています。釣れるたびに感動します。茅ヶ崎ではよくキスが釣れるので今年はキスをたくさん釣って天ぷらにして食べたいです。いつか船で沖に出て大きい魚を釣るのが目標です。

まだ箱根病院に来て日が浅く雰囲気やシステムなど不慣れなこと多くご迷惑をおかけすることが多いと思います。一日でも早く戦力になれるように精進して参ります。何卒よろしくお願いたします。



施設のトピックス

NHO 相模原病院

NHO 相模原病院 安田 秀平

新型コロナウイルス感染症の流行を通じて、当院の病院体制および職員間の意識に大きな変化が生じました。

これまで「感染管理」や「医療安全」などのチーム医療の重要性については、職員一同が認識してはいたものの、実際の業務においては職種間に一定の距離が存在するという課題がありました。しかし、コロナ禍という未曾有の状況下で、医師、看護師、検査技師をはじめ事務職員に至るまで、職種の垣根を超えた密な連携が求められ、病院一丸となって迅速な対応を行いました。

特に検査科においては、PCR 検査や抗原検査の迅速な導入と運用が急務となりました。従来は外部委託していた検査を院内で実施することにより、結果報告までの時間を大幅に短縮することができ、診療現場からの要望にも柔軟に対応できる体制が整いました。

このような取り組みを通して、職員間のコミュニケーションが深まり、それぞれの職種が他の業務内容や課題を理解し合える機会が増えました。職種間の壁が低くなったことで、日常業務においてもチーム医療に対する意識が向上し、相互協力体制が定着しました。

現在、当院では、これらの経験をもとに、新たな感染症の流行や非常時にも迅速かつ柔軟に対応できるよう、横断的な教育や訓練を継続的に実施しています。職員一人ひとりが病院全体の機能維持のために何ができるのかを常に意識し、日々の業務に取り組んでいます。

コロナ禍で培ったチーム医療への意識を、今後も当院の強みとして生かし、地域医療に貢献していきたいと考えています。



NHO 横浜医療センター

NHO 横浜医療センター 齊藤 友永



NHO 横浜医療センターは横浜市戸塚区の渋滞で有名な国道1号線原宿交差点すぐそばにあり、横浜市南西部の地域中核病院と位置付けられており、高度急性期病院として地域に根付いた医療を行っております。その歴史は古く昭和18年に戸塚海軍病院として創設され、昭和20年国立戸塚病院として発足し、国立横浜病院に名称変更の後、平成15年に国立横浜東病院と統合し、平成16年にNHO横浜医療センターとして現在に至っております。病院の敷地の中には海軍軍医学校戸塚分校跡の記念石碑があり、錨のマークが入った古びた消火栓なども見られます。探索してみるとまだまだ当時にタイムスリップできる何かが見つかるかもしれませんのでご興味のある方は是非いらしてみてください。

当院は32の診療科があり、救命救急センター及び地域周産期母子医療センターを備え、横浜市小児救急医療拠点病院にも認定されています。当院にはいろいろと特色があるのですが、本日は産婦人科及び地域周産期母子医療センターについてご紹介させていただきます。周産期医療センターとは周産期に係る高度な医療を対象とした施設で、産科と新生児科の両方が組み合わさった施設で総合周産期母子医療センターと地域周産期母子医療センターに分けられ地域周産期母子医療センターは総合周産期母子医療センターを補助する施設と位置付けられ24時間体制で周産期の救急医療に対応しています。臨床検査科でも365日、24時間、2交代制の日当直業務で対応しております。また、通常分娩も積極的に受け入れており昨年度より無痛分娩も始まりました。NICUも併設されていますので妊娠中、分娩の前後、赤ちゃんが生まれたあとなど予想外に起こる様々な問題に素早く適切な対応をすることが出来ます。神奈川地区会会員の方でご出産の予定のある方は当院で分娩してみたいかでしょうか？クリニックのように綺麗な部屋で、アメニティーが揃っていて、ご飯がおいしいとはいきませんが、安全で安心な分娩が望めるはずです。病院紹介というより宣伝のようになってしまいましたがこのほかにも紹介したいところはありますが紙面の関係上、今回はこれくらいしておきます。来年の施設紹介を楽しみにしていただきね。



NHO 神奈川病院

NHO 神奈川病院 古江 裕志



神奈川病院の歴史は、1939年（昭和14年）4月に「傷病軍人神奈川療養所」として創設され、旧厚生省に移管後は、「国立神奈川療養所」、「国立療養所神奈川病院」と名称を変え、2002年（平成14年）国立小児病院二宮分院と統合、独立行政法人に移行後は、「国立病院機構神奈川病院」として、秦野伊勢原地域（秦野市人口：160,069人、伊勢原市人口：101,437人）の地域医療支援病院として地域を支えています。開設時より結核患者の診療を実施、1971年（昭和46年）より重症心身障害児（者）の療養受入れを行っており総病床数は、330床（一般180床、重心120床、結核30床）。開設時の結核病床は550床ありましたが、時代背景や結核患者の減少とともに2021年（令和3年）30床まで縮減しています。

施設は、小田急電鉄秦野駅の北西方向にある舌状台地の上にあり木々に囲まれているため、建物を直接見ることはできません。病院を見るためには、裏山の朝日神社の石段の上か、さらに北西のヤビツ峠手前にある菜の花台展望台、東にある引法山公園やそれに続く馬場道の途中、権現山展望台からなら病院の一部を見ることができます。引法山公園～権現山間は、低山ハイキングコースで大師堂の展望台からは、関東平野が一望でき、江ノ島、ランドマークタワー、遠くは房総半島や東京スカイツリーを望むことができます。訪れた当日は、葉桜でしたが、ハイキングやバードウォッチングを楽しむ家族連れや女性ハイカー、高齢者ハイカーでにぎわっていました。

前年度の検査科トピックスとしては、大規模な機器の入替や導入が行われました。2024年12月末にFMS（Facility Management Service）契約更新があり詳細は以下の通りです。検査室のレイアウトも変更され業務の効率化と患者サービスの向上（検査報告時間の短縮）、検査科職員のモチベーション向上に貢献しています。

部署	部門	機器
検体検査室	生化学検査	日本電子 BM-6050 2台
		富士フィルム Wako NX-10N（アンモニア）
	免疫学検査	富士レビオ ルミパルス G1200plus 機器更新
	DM検査	東ソー HLC-723G11（カラム法へ切替）
	血液学検査	Sysmex XR-1000（XN-1000 継続使用との2台体制）
		常光 Smat Rate20（血沈）＋ミキサー
	輸血検査	オーソ VSION を継続使用（更新無し）
システム	日本電子 CLALIS-60L	
遠心機	冷却遠心機2台（新旧あわせて遠心機4台体制化）	
細菌室	一般細菌	BC Walk-away DxM1040、遠心機1台
		BD BACTEC FX-40（FX-40-1号機継続使用により連結）
	抗酸菌	BD BACTEC MGIT960 機器更新
	システム	BD 細菌システム
	その他	高圧蒸気滅菌器 HV-50 II

	遺伝子	GeenXpert GX-IV (県の補助事業)
採血室	一般検査	栄研化学 US-3500、遠心機 1 台
	血液ガス	シーメンス Rapidpoint500e 2 台 (採血室と 4 病棟)
	システム	Rapidcom データマネージメントシステム



検体検査



検体室検査室から輸血検査



朝日神社



神奈川病院

朝日神社からの展望



菜の花台展望台



引法山公園

権現山

神奈川病院

菜の花台からの展望 神奈川病院方面

NHO 久里浜医療センター

NHO 久里浜医療センター 近藤 南

こんにちは、久里浜医療センターの近藤です。当院の施設トピックスを紹介していきたいと思います。

まず、自動血球分析装置が約13年ぶりに新しくなりました。新装置（Sysmex XR-1000）になって一番良かった点はバーコードの向きを気にしなくて良くなったことです。すごく些細なことですが、ラックからバーコードが見えるようにキチンと並べたのに読み込んでくれなくてイライラするという現象は軽減されました。また、メンテナンスが簡便になったのも良い点です。

もう一つ更新された機器があります。約10年ぶりに超音波検査装置が新しくなりました。新装置（富士フイルム ARIETTA750）は解像度が上がり、液晶画面も大きくなったので画像が見やすくなりました。使っている時はこんなものだと思うので意識しなかったのですが、新装置になると画面のクリアさが際立ちます。あとは自分の技術が追い付ければより鮮明に見られるかと思います。新しく肝エラストグラフィが測定できることになったのですが、なかなか癖があり、測定に苦戦しています。もしコツなどがあればどなたか教えてください…。

機器以外で新しくなったことは外来採血業務の時間が延長になりました。午前中を前半と後半にわけ、1人ずつ交代して業務にあたっています。採血を始め2年くらいになりますが、未だに採血当番の日は緊張します。そんな不慣れな私を理解してくれている外来の看護師さんは、注射針が血管に入らなくて悪戦苦闘しているとさっときて助けてくれます。なるべく手を煩わせないようにしたいのですが、血管とお友達になれるのはまだ先のような感じです。



NHO 箱根病院

NHO 箱根病院 西 洋平

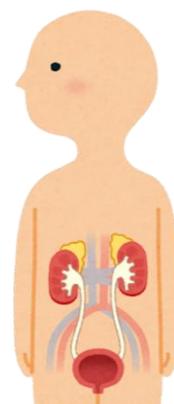
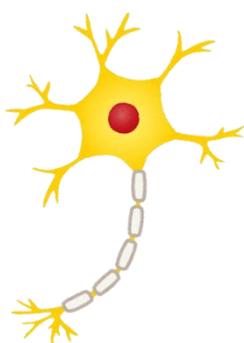


昨年と同じく箱根病院の西が施設のトピックスを紹介します。今回のトピックスは当院循環器医が主催した院内講習会を受講して、腎機能評価について運用を見直したので紹介したいと思います。

腎機能の評価する指標として eGFR (推定糸球体濾過量) が多く用いられています。eGFR の計算式は主に血清クレアチニンの値と患者の性別・年齢で算出されます。しかし当院に入院・通院する神経筋疾患の患者は筋肉量の減少により血清クレアチニン値が低下傾向を示します。この場合血清クレアチニン値を用いた eGFR は偽高値を呈し臨床では正常と判断され乖離が生まれてしまいます。そこでより正確な

腎機能の評価するために血清シスタチン C を用いた eGFR の算出を取り入れました。また以前まで臨床医自身がアプリを用いて eGFR を算出していたのをこの機会に検査科マスタに eGFR の計算式を組み込み自動で計算し検査結果を送信できるようにしました。その結果、血清クレアチニン値とシスタチン C の両方で算出した eGFR を電子カルテ上で見ることが出来るようになり運用面でもかなり改善されました。

今後も箱根病院検査科の運用を少しずつではありますがより良いものに改善していきたいと思っています。



国臨協関信支部神奈川地区会会則

平成 06 年 03 月 05 日	施行
平成 17 年 02 月 26 日	一部改訂
平成 20 年 03 月 01 日	一部改訂
平成 21 年 03 月 07 日	一部改訂
平成 22 年 10 月 30 日	一部改訂
平成 24 年 04 月 01 日	一部改訂
平成 27 年 11 月 14 日	一部改訂
令和 02 年 10 月 30 日	一部改訂
令和 03 年 10 月 15 日	一部改訂

(名称)

第 1 条 この会は、国臨協関信支部神奈川地区会(略称神奈川地区会)という。

(目的)

第 2 条 この会は、研究・学術ならびに知識の向上さらに施設相互の交流、会員相互の親睦等を図ることを目的とする。

(事業)

第 3 条 この会は、前条の目的達成のために、必要な事業を行う。

(事務所)

第 4 条 この会の事務局は、事務局長の担当施設に置く。

(単位)

第 5 条 この会は、国臨協関信支部と提携し、各施設毎に単位を置く。

(会員)

第 6 条 この会の会員は、神奈川県にある独立行政法人国立病院機構の病院ならびにセンターに勤務する検査科の職員とする。

(役員)

第 7 条 この会に、次の役員を置く。

会長 1 名、事務局長 1 名、会計 1 名、理事若干名、会計監査 1 名。

(職務)

第 8 条 役員の職務は次の通りとする。

- (1)会長は、この会を代表し会務を総括する。
- (2)事務局長は、本会の会務を司る。
- (3)会計は、本会の会計を担当する。
- (4)理事は、各会務を担当する。
- (5)会計監査は、本会会計を監査し総会に報告する。

(役員を選出)

第 9 条 役員を選出は次の通りとする。

- (1)この会の会長は、総会で承認することにより定める。
- (2)この会の理事は、各単位毎に選出し総会で承認する。

(3) この会の事務局長・会計は、理事会で互選する。

(4) この会の会計監査は、次期総会担当施設が行う。

ただし、会計と会計監査が同施設になった場合は理事会の協議により認めることができる。

(役員任期)

第10条 役員任期は、1年とするも再選を妨げない。

(役員補充)

第11条

(1) 会長が任期途中で転勤、病気等で辞任した場合は、理事会で選任し次期総会で報告する。

(2) 会長以外の役員が任期途中で転勤・病気等で辞任した場合、該当施設は速やかに後任者を選出しなければならない。

(会議)

第12条 この会は、次の会議を開催する。

(1) 総会は、年1回開催し当日参集の会員をもって構成する。

(2) 理事会は、会長、事務局長、会計、理事をもって構成する。

(3) 災害等により集合型の総会が開催できない場合は、状況により書面決議等による総会を開催することができる。

(会計)

第13条

(1) この会の会計は、会員の会費等を以ってあたる。

(2) この会の会費は、1年間1人500円とし、各単位毎に第1回理事会までに納入するものとする。すでに納入した会費、その他拠出金は返還しない。

(3) この会の会計は、総会において会計報告及び会計監査報告をする。

(4) この会の会計年度は、10月1日より翌年の9月30日迄とする。

(旅費規程)

第14条

(1) この会の旅費は、交通費（普通車実費）とする。

(2) 行動費として500円支給する。

(付則)

(1) この会の会則は、総会の了承を得られなければ改廃することが出来ない。

(2) この会則は、平成22年11月1日から施行する。

(細則)

第1条 会則第12条1項の総会の開催場所は、各単位(施設)で持ち回りとする。

順番は、独立行政法人国立病院機構 神奈川病院、相模原病院、横浜医療センター、久里浜医療センター、箱根病院とする。

ただし、理事会の協議により変更することができる。

第2条 総会時の承認は、当日参集する会員の過半数の賛同をもって成立する。

第3条 次期会長候補は、理事会が推薦する。

理事会は、必要な場合文書等をもって協議することができる。

第4条 大規模施設等（相模原、横浜）からは複数名選出することができる。

神奈川県地区会会員名簿

令和7年4月1日現在

● NHO 相模原病院

武山 茂
播井 美由紀
山本 伸晃
朝比奈 大輔
鈴木 芳明
川口 港
大野 浩
手塚 好之
安田 秀平
瀧澤 光彦
品田 祐希
安田 寿美子
福永 利恵子
安保 伸樹
逸見 桃香
長浜 優衣
幡野 廣樹
錦織 春菜
稲垣 慧美
小林 大暉
水永 ちひろ
下山 夢結
西村 太志
中山 佳苗
村上 夏美
伊藤 大樹
小林 史佳
小林 稜弥
山口 洋輝

● NHO 横浜医療センター

吉田 茂久
齊藤 友永
片桐 理絵
竹内 智也
春原 悟
井田 貴明
木村 元紀
外川 靖士
呉屋 薫
藤原 由貴乃
野中 照美
佐久間 みゆき
高橋 千尋
中井 敦子
秋山 卓思
宮川 真名実
新本 恵理香
大森 衣里子
高橋 美樹
森 真衣子
安中 未華
戸塚 美穂
上田 大晴
東 作弥
金野 遥

● NHO 神奈川病院

瀬戸 茂誉
古江 裕志
青木 正哉
山崎 直樹
大木 仁
木村 葉
大田 佳秀
齋藤 暦

● NHO 久里浜医療センター

齋藤 広樹
平本 研二
水野 正浩
近藤 南
永沢 美樹
屋代 達

● NHO 箱根病院

若林 弘
河合 真由子
早川 真奈美
西 洋平

神奈川地区会報誌 第76号

発行：瀬戸 茂誉
編集：播井 美由紀
川口 港
戸塚 美穂
近藤 南
西 洋平
外川 靖士